

市川市立福栄中学校 令和7年度 学習の指針

教科 英語科

学年 1年

1. 学習の目標

①学びに向かう力

自分の可能性を広げ、多様な学び方を経験しながら学ぶことを楽しむ心と主体的・協働的に学ぶ力を身につける。

②他者と関わる力

他言語の習得を通して、人と関わりながら他を認めることや様々な文化に触れながら社会の多様性を理解し、関わっていく力を身につける。

③自分で考える力

他言語を通して自分と向き合い、目的や場面、状況に応じてコミュニケーションを図る力と論理的・批判的に考える力を身につける。

④英語を使う力

他言語を通して自分の思いを伝え、他者を理解し、表現し、伝え合いながら実際のコミュニケーションで活用するための英語を身につける。

2. 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1学期	Starter1-4 小学校で習った表現 Lesson1 About Me (be動詞・一般動詞) Lesson2 My Hero (助動詞can)	○アルファベットや簡単な単語を、聞いたり話したりすることができる ○月・日・曜日・教科・習い事について、聞いたり話したりすることができる ○1日の生活や町の施設や建物について、聞いたり話したりすることができる ○好きなことや趣味などについて、聞いたり、読んだり、話したり、書いたりして、お互いのことを知ることができます ○できることなどについて、聞いたり、読んだり、話したり、書いたりして、お互いの理解を深めることができます ○プロフィールカードを作って、自己紹介ができる ○あこがれの人物などを紹介するポスターを作って、発表できる
2学期	Lesson3 My Treasure (who,him/her) Lesson4 My Summer Plans (I went to…/Where do you want to go?) Lesson5 Ms. Brown's Family (3人称単数現在形) Lesson6 School Life in the U.S.A. (現在進行形)	○大切にしているものを紹介するクイズを作ることができます ○夏休みにしたいことをリストにまとめて発表できる ○人気のある人物やキャラクターを紹介できる ○日本の学校生活や行事を紹介するメールを書くことができる
3学期	Lesson7 Athletes with Spirit (一般動詞の過去形) Lesson8 Discover Japan (be動詞の過去形)	○スポーツ特集記事を読むことができる ○思い出に残った出来事を、絵日記に書くことができる ○新聞に掲載された、防災特集のコラムを読むことができる

3. 評価

(1) 内容および方法

	評価の内容	評価の方法
①知識・技能	①定期試験 ②授業内小テスト	①定期試験の採点 ②授業内小テストの結果を成績に反映
②思考・判断・表現	①パフォーマンステスト ②定期試験 ③授業内小テスト 英作文課題など	①パフォーマンステストや授業内小テストの結果を成績に反映 ②定期試験の採点 ③授業内で行う英作文やグループ活動、課題の採点を成績に反映
③主体的に学習に取り組む態度	①リフレクションシート(生徒の振り返り) ②定期試験前の課題(ワーク・ノート) ③授業の取り組み方	①③単元の達成度を自己評価し、その後の積極的な学習への取り組み方を評価 ②授業内の活動への姿勢・課題提出率や取り組み方を成績に反映

(2) 観点と評価の関係

評定			
A	A	A	5
A	A	B	4
A	B	B	
A	A	C	
A	B	C	
B	B	B	
B	B	C	
A	C	C	
B	C	C	2
C	C	C	1

<評価の注意事項>

英語の授業では読む、書く、聞く、話すの4つの技能を総合的に評価するため、定期試験のみに向けて努力すれば良いというわけではありません。授業への積極的な取り組みと課題の内容や提出率、スピーチングなどのパフォーマンステスト等に全力で取り組んだ結果が最終的な評価となります。基本的に授業で取り扱うもの全てが評価の参考資料となることを念頭に置き、普段の授業を大切にしましょう。

4. 教科に関するアドバイス

- ・ワークやノートを活用し、たくさん英語を書く、話す(発音する)ことを心がけましょう。特に新しく学習する文法や単語は声に出してたくさん練習しましょう。
- ・文章を書く際のルールには注意しましょう。(わかりやすいはっきりした字で書く)
- ・電子教科書を活用し、家庭学習の定着を図りましょう。